



# 競技会に勝つ(目の前のてきを必ず倒す)



## 令和5年度旅団射撃競技会

### 小火器・機関銃・狙撃・分隊戦闘射撃で競う

第14旅団(旅団長 大場剛陸将補)は、令和6年1月、高知演習場(高知県)及び日本原演習場(岡山県)において令和5年度旅団射撃競技会を実施した。

統裁官である大場旅団長は、競技に先立ち参加者に対し、「第14旅団の任務・戦い方と、これを可能にするため必要となる能力を改めて認識し、第一線から後方部隊まで全ての部隊が、自らを守り健在することは、全隊員に等しく求められる基本的事項であり、全隊員がプロとして高い練度を保持しなければならぬ。」と訓示を述べ、「必中の信念を持って」「勝利へのこだわりを持って」「安全管理」の3点を要望した。

本競技会は、部隊長の推薦及び抽選で選ばれた各部隊の隊員が、89式小銃、20式小銃及び機関銃の各個射撃、狙撃銃の組射撃並びに分隊戦闘射撃の区分により競い合った。また、オープン参加として日頃協同訓練を実施する第9施設群(小郡駐屯地)が参加し、部隊間の連携強化が更に促進するとともに、競技会に刺激が加わり大いに盛り上がった。

各選手は、日頃の練成成果を遺憾なく発揮し、部隊の代表として、実力に裏付けられた「誇りと自信」を堅持し、一発一発、勝利に執着し射撃を行った。

近接戦闘を対象とする部隊対抗の部においては第50普通科連隊が、警戒自衛戦闘を対象とする部隊対抗の部においては第14偵察隊が栄冠を勝ち取った。

第14旅団は、令和6年滑り出しとなる訓練を終え、隊員及び部隊の任務遂行に直結する射撃能力の向上に加え、部隊の団結強化及び士気の高揚を図るとともに実力の進化を図った。



## 【成績発表】

<b>■部隊対抗の部</b> <b>Aグループ</b> 優勝 第50普通科連隊		<b>■個人対抗の部</b> <b>Aグループ</b> 優勝 第14偵察隊 準優勝 第14情報隊 第3位 第14通信隊		<b>■分隊戦闘射撃</b> 第1位 第50普通科連隊 第2中隊 分隊長 2等陸曹 田上 博士 小銃手 陸士長 田中 龍馬 機関銃組長 3等陸曹 中谷 隆太 機関銃手 3等陸曹 山下 健人		<b>■小火器(全隊員対象)</b> 第1位 第50普通科連隊 石本 優毅 3等陸曹 宮本 敦 第2位 第50普通科連隊 濱田 真行 3等陸曹 大出 翔 第3位 第50普通科連隊 和昌 昌也 陸士長 真鍋 亜斗		<b>■狙撃</b> 第1位 第15即応機動連隊 山下 知廉 3等陸曹 第2位 第14偵察隊 加藤 琢磨 2等陸曹 松田 卓巳 第3位 第15即応機動連隊 中反屋 勝 3等陸曹 横山 享 3等陸曹 大河原 光平		<b>■小火器(陸士のみ対象)</b> 第1位 第15即応機動連隊 藤山 萌 陸士長 渡邊 辰丸 第2位 第15即応機動連隊 伊藤 和真 2等陸曹 第3位 第14旅団司令部付隊 伊藤 和真		<b>■Bグループ</b> <b>小火器(全隊員対象)</b> 第1位 第14施設隊 加藤 琢磨 2等陸曹 第2位 第14施設隊 松田 卓巳 2等陸曹 第3位 第15即応機動連隊 中反屋 勝 3等陸曹 横山 享 3等陸曹 大河原 光平	
--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--



# 2024年 年男・年女の抱負

中部方面特科隊  
3等陸曹 遠藤 拓実



本年もよろしくお願ひします。私の今年の抱負は『チャレンジ』です。本年1月1日付で3等陸曹に昇任し、いつも支えてくださる皆様のおかげで陸曹として新たな一歩を踏み出すことが出来ました。今年、そんな方達に恩返しが出るよう初級陸曹としての勢いを隊に還元し活性化できるように何事も『チャレンジ』していきたいと思ひます。最後に皆様にはご迷惑等をおかけすると思ひますが、ご指導よろしくお願ひします。

第50普通科連隊  
1等陸士 曾我部 桂



今から12年前、12歳の私は、祖母の家で、24歳になった時の自分はどうなっているのだろうと、思っていた頃が今もとても懐かしいです。今年、辰年ということで、私が好きな、レオナルド・ダ・ヴィンチのメモの中に「龍」というのは、色んなものが合体しており、龍のように相手の良い所取りをしる」というのがあります。なので、今年の目標は、「色々な人の良いところを見て自分のものにして、陸曹の試験に合格し、立派な陸曹となり全国へ飛んでいけるよう精進して参ります」です。皆様には、ご迷惑をおかけしますが、更に一歩進むために、ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひします。

第15即応機動連隊  
3等陸曹 本多 安菜



今年で24歳になり、2回目の年女を迎え私は、今年の抱負を2つあげます。1つ目は、隊員に無関心になることなく日頃からコミュニケーションをとり、相手の心情を把握した上で指導し、自分の発言に自信と責任をもって後輩育成ができるようにしたいと思ひます。2つ目は、家庭面で入籍、妊娠とイベントが多くありました。今までは自分のためだけに行動していましたが、3月に第一子が生まれる予定なので無事に出産ができるよう体を気遣っていききたいと思ひます。また夫婦で協力し幸せな家庭を築いていきます。部隊の方々には多大なご迷惑と勤務への配慮をしていただいたので、それに応えらるよう1年間は育児に専念していき、復帰後はこのご恩を返せるようにしたいと考えております。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

第14情報隊  
2等陸曹 上田 涼太



陸上自衛隊入隊以来、2度目の年男を迎えることとなりました。令和4年8月に伊丹駐屯地から転属して来ました。初めての四国勤務、初めての単身赴任生活にも慣れ、今は、隊本部において総務陸曹として隊長のスケジュール管理、隊員の健康に係る業務をこなしています。慣れない事ばかりですが、決して上向きで、上司・同僚・家族に支えられ踏み張っています。最後に、今年も上司・同僚及び家族が昇り龍のごとく、大きく繁栄し、1年が健康に過ごせるとともに、一生懸命頑張りたく思います。

第14偵察隊  
陸曹長 秋月 伸秀



皆様方におかれましては清々しい新年を迎えのこととお慶び申し上げます。この度は私は4回目の年男を迎えるにあたり、私の抱負を述べさせていただきます。現在「先任上級曹長」の職を拝命し早や2年、今年に至っては現状に満足せず「龍の如く、強靱な曹士の育成」を主眼に取り組んでいこうと思ひます。小部隊のリーダーたり得る状況判断能力を向上させるとともに主体的・積極的に任務を遂行し得る曹士を鍛錬・昇華していきたいと思ひしております。結びにあたり、本年も皆様がお祈り申し上げます。

第14後方支援隊  
陸士長 岡田 舞



新年あけましておめでとうございます。昨年は周りの皆様のおかげで陸曹候補生試験に合格することができ、陸曹教育隊への入校も無事終えることができました。そんな私の今年の抱負は「挑戦」です。これから陸曹という立場になる身として様々なことに挑戦し、経験を日々レベルアップ出来るよう自分の殻をどんどん破っていき、そんな1年にしたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

周囲の人たちの多くの支えにより、2度目の年男を迎えることが出来ました。年男としての抱負として「努力」をあげたいと思ひます。今までは「まあ、いいや」と思っていたこと、諦めていたことについて少しづつですが、一生懸命取り組んでいきたいです。そして、昨年はたくさんの方々の支えがあり、感謝しかありません。その感謝に恩返しできるように、日々精進し、より一層努力し続けたいです。今年こそ、陸曹候補生試験に合格できるよう頑張ります。どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

私の年女の抱負は、新しいことでも一生懸命に取り組んでしっかりと自分のものにしていくことです。昨年入隊し、自衛隊のことを多く学ぶ中で、苦しいことや興味のあることたくさんありますが、最初から好きで、何事にも挑戦してみようという気持ちを持って、自分の経験値を増やしていきたいと思ひます。また、一般陸曹候補生として入隊している中で、早く陸曹になれるよう勉強も頑張っていきます。今年もよろしくお願ひします。

第14飛行隊通信班の花岡3曹です。今年で24歳となり十二支も3周目を迎えました。3曹としては1年目でまだまだ若輩の身なので辰年にちなんで、竜頭蛇尾に「尾わる」ことなく、また画面点検を欠くことなく持つ力を存分に発揮して新進気鋭の陸曹として、躍進できる1年になるように頑張っていきたいと思ひます。

おかげさまで4度目の年男を迎えられたのも多くの支えによるものだと感謝いたしております。さて、私の今年の抱負は「克己」です。最近怠けがちな運動のため筋力や持久力ともに急降下しており危機感を覚えるもなかなか行動できずにおりました。年男の抱負というまたとない機会をいただきましたので、昨日の自分に少しでも打ち克てるようにしていきたいと思ひます。



第14通信隊  
3等陸曹 山本 帆高



第14施設隊  
1等陸士 後町 わこ



第14飛行隊  
3等陸曹 花岡 正樹



第14高射特科隊  
陸士長 丹下 雅人



第14音楽隊  
1等陸士 福島 彩音



第14旅団司令部付隊  
1等陸曹 小野 辰也



第14特殊武器防護隊  
1等陸曹 藤本 敏武

振り返ってみると2023年は自分にとって変動の1年でした。4月に多賀城駐屯地にて新隊員前期教育を受け、私の自衛官生活がスタートしました。そこから自衛官としての基礎を学び、同期たちとの別れを惜しみながら朝霞に異動し、音楽科の後期教育を受けました。約6ヶ月間の教育期間を経て、第14音楽隊に配属されました。知らない土地、新しい人々との出会い、初めての社会人生活、何もかもが新鮮な気持ちで毎日過ごしていました。ようやく今の生活にも慣れてきたところですが、本年は年女ということで、多くの学びと大きな挑戦をする1年にしたいです。自衛官として、音楽隊の一員として自分には誰から必要とされているのか、何が出来るのかを考えながら、体力面や楽器の技術向上を追求し、周囲の良い影響はどんどん吸収していきたいです。もうひとつ挙げた「挑戦」の具体的な目標としては、陸曹候補生選抜試験に合格して陸曹に昇任することです。途中で辛くなったり諦めそうになることもありますが、来年は武器に様々な壁を乗り越え、充実した1年にしたいです。本年もご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひいたします。

私は今年で3度目の年男を迎えました。昨年は司令部付隊への異動をはじめ、上級陸曹への昇任、新たな家族の誕生を経験することができ、不安と喜びが重なり合った1年となりました。この1年は、私にとって「新たな環境への適応」「周囲との連携」「組織、家庭における立場」等、多くの経験と知識を与えてくれました。職務、私生活において困難なこともありましたが、家族・上司・同僚に支えられ、自身の成長に繋げることができたと思ひます。このため、今年「感謝」の年にしたいと考えています。私は今まで大変多くの方々に支えられて今の自分があると考えておりますので、その気持ちを忘れることなく胸に刻んで、周りの方の期待に応えられるようスキルアップしていきたいと思ひます。また、「パパお帰り」と出迎えてくれる長男(2歳)、昨年元気に生まれてくれた長女、そして何よりも私の支えとなってくれた妻への感謝を忘れることなく、日々精進していきたいと思います。

私は今年で3度目の年男を迎えました。昨年は司令部付隊への異動をはじめ、上級陸曹への昇任、新たな家族の誕生を経験することができ、不安と喜びが重なり合った1年となりました。この1年は、私にとって「新たな環境への適応」「周囲との連携」「組織、家庭における立場」等、多くの経験と知識を与えてくれました。職務、私生活において困難なこともありましたが、家族・上司・同僚に支えられ、自身の成長に繋げることができたと思ひます。このため、今年「感謝」の年にしたいと考えています。私は今まで大変多くの方々に支えられて今の自分があると考えておりますので、その気持ちを忘れることなく胸に刻んで、周りの方の期待に応えられるようスキルアップしていきたいと思ひます。また、「パパお帰り」と出迎えてくれる長男(2歳)、昨年元気に生まれてくれた長女、そして何よりも私の支えとなってくれた妻への感謝を忘れることなく、日々精進していきたいと思います。

おかげさまで4度目の年男を迎えられたのも多くの支えによるものだと感謝いたしております。さて、私の今年の抱負は「克己」です。最近怠けがちな運動のため筋力や持久力ともに急降下しており危機感を覚えるもなかなか行動できずにおりました。年男の抱負というまたとない機会をいただきましたので、昨日の自分に少しでも打ち克てるようにしていきたいと思ひます。